出演者プロフィール

長 島 剛 子
（ソプラノ）

国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修士課程独歌曲専攻修了。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。その後ケルン音楽大学マスタークラスにてリート解釈法の研鑽を積む。19 世紀末から 20 世紀の独歌曲の演奏を中心に活発な活動を続けている。平成 14 年度文化庁芸術祭優秀賞。「架空庭園の書」「光の中のベルリン」「遠望」「至福の憧れ」の 4 枚の CD をリリース。「新ウィーン楽派によるドイツ歌曲集」（音楽之友社）の楽譜を監修。
現在、国立音楽大学及び大学院教授。

大 西 律 子
（ヴァイオリン）

国立音楽大学卒業。
第 14 回古楽コンクール第 3 位。
国立音楽大学非常勤講師。
「モーツァルト・アカデミー・トウキョウ(MAT)」「Millennium Bach Ensemble」のコンサートマスター。
「国分寺チェンバーオーケストラ (KCO)」弦楽器トレーナー、「オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウ (OPT)」指導者、「墨田区交響楽団」弦楽器指導者、など音楽愛好家団体も指導。

坪 田 一 子
（ヴィオラ・ダ・ガンバ）

国立音楽大学楽理学科卒業。
在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバを神戸愉樹美氏に師事。ベルギーでヴィーラント・クイケン氏、ポルトガルでパオロ・パンドルフォ氏のマスタークラスに参加。
ヨーロッパの中世からルネサンス・バロック音楽まで、アンサンブルを中心に演奏活動をしている。「ラウデージ東京」、「メネストレッロ」メンバー。
国立音楽大学非常勤講師。

菊 池 奏 絵
（フラウト・トラヴェルソ）

桐朋学園大学卒業。
古楽器を使ってのルネサンス、バロック演奏、また 19C フルート、現代フルートでのコンサートや録音などで活動。第 24 回 NFA コンペティション (New York) 優勝の他、現代音楽協会演奏 "競楽Ⅰ"、日本管打楽器コンクールなどに入賞。国立音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、昭和音楽大学、Dolce ミュージック・アカデミー講師。
一般社団法人日本フルート協会代議員。

浜 中 康 子
（バロック・ダンス）

桐朋学園大学ピアノ科卒業。東京藝術大学大学院修了。W.Hilton、E.Campianu のもとでバロックダンスを学ぶ。「ヴェルサイユの祝祭」「舞曲は踊る」「ポロネーズ―そのリズムの源泉―」他公演。著書『舞曲は踊る ―バッハを弾くためのバロックダンス入門―』、『栄華のバロックダンス』、DVD『バロックダンスへの招待』（音楽之友社）。平成 12 年度文化庁派遣芸術家在外研修員として渡米。現在、桐朋学園芸術短期大学、放送大学講師。
東京バロックダンス研究会主宰。

北 條 耕 男
（バロック・ダンス）

東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。
同大学院修了後、東京シティバレエ団の団員となり「ジゼル」「白鳥の湖」などの主役として、また中国公演他国際的にも活躍する。退団後ＨＯＪＯバレエスタジオを開設。バロックダンスを浜中康子に師事し「ヴェルサイユの祝祭」「舞曲は踊る」「ショパン 200 年の肖像 ―「ポロネーズ」そのリズムの源泉―」他、数多くのバロックダンス公演に出演。

グザヴィエ・ビュロー
（ナレーション）

国立音楽大学非常勤講師（仏語）

久 元 祐 子
（ピアノ・チェンバロ・お話）

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。ウィーン放送響、ハイドン・フィル、ラトヴィア国立響、読響など内外のオーケストラと多数共演。チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノなど歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組む。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。
2016 ～ 22 年にかけてモーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲演奏会を開催。「優雅なるモーツァルト」（毎日新聞特薦盤、レコード芸術特選盤）など CD17 作をリリース。著書にモーツァルトのピアノ音楽研究』（音楽之友社）など。
国立音楽大学・大学院教授
https://www.yuko-hisamoto.jp/

「羽村市と国立音楽大学との連携に関する協定」締結

令和 3 年 9 月 10 日、羽村市と国立音楽大学は活力のある地域社会の創造、人材の育成などを目的に連携協定を締結しました。
羽村市と国立音楽大学は協定締結を機に、音楽による連携・協力を深め文化芸術の一層の充実に努めてまいります。
本公演はこの協定に基づき開催するものです。